

News Release

2021年7月13日

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]

夏休みイベント「ICC キッズ・プログラム 2021 チューンナップ じぶんをととのえる」の開催について

- NTT東日本が運営する文化施設NTTインターコミュニケーション・センター^{※1}(以下、ICC)では、子どもから大人まで楽しめるイベント「ICC キッズ・プログラム 2021 チューンナップ じぶんをととのえる」を開催します。オンライン展示は2021年7月24日(土)より8月22日(日)まで、リアル展示は8月7日(土)より8月22日(日)まで行います。(入場無料)
- 「ICC キッズ・プログラム」は、最新のメディア・アート^{※2}に触れることで子どもたちの好奇心と想像力を育むことを目的に、2006年より毎年夏休みに開催しており^{※3}、文部科学省が主催する「令和2年度 青少年の体験活動推進企業表彰」^{※4}において、審査委員会優秀賞を受賞しました。
- 今年度のICC キッズ・プログラムは、昨年来、それ以前と異なるニューノーマルな環境で生活が続ける中、様々な方法により自分をととのえることをテーマとします。遠隔地からの参加も可能なオンラインでのワークショップなども開催予定です。

※1 日本の電話事業 100 周年記念事業として 1991 年からのプレ活動を経て、1997 年に NTT が設立した科学技術と文化芸術の融合をテーマとする文化施設。

※2 コンピュータをはじめとするさまざまな先端メディア・テクノロジーを使用したアート作品を総称する言葉。

※3 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため、2020 年度は開催なし。

※4 文部科学省が 2013 年度から開催。社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図ることを目的としている。

1. 「ICC キッズ・プログラム 2021 チューンナップ じぶんをととのえる」開催概要

英展覧会名 : ICC Kids Program 2021 “Tune up and Chime in”

【オンライン展示概要】

開催期間 : 2021 年 7 月 24 日(土)~2021 年 8 月 22 日(日)

会場 : <https://hyper.ntticc.or.jp/>

体験料 : 無料

【リアル展示概要】

開催期間 : 2021 年 8 月 7 日(土)~2021 年 8 月 22 日(日)

会場 : NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] ギャラリーA

開館時間 : 午前 11 時~午後 6 時

入場料 : 無料(事前予約制・当日入場は事前予約者優先)

予約方法詳細は、後日 ICC ウェブサイトにてお知らせいたします。

休館日^{※5} : 2021 年 8 月 10 日(火)、2021 年 8 月 16 日(月)

※5 休館日以外においても、開館時間の変更および臨時休館の可能性がございます。

最新情報は ICC ウェブサイト(<https://www.ntticc.or.jp/>)などでお知らせします。

主催 : NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] (東日本電信電話株式会社)

後援 : 渋谷区教育委員会、新宿区教育委員会、中野区教育委員会、文京区教育委員会
共催 : 東京工芸大学(特別展示:東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター)

2. 展覧会概要

今年度のキッズ・プログラムは、「チューンナップ じぶんをととのえる」と題し、昨年来、それ以前と異なるニューノーマルな環境で生活が続ける中で、自分のことを改めて発見したり、気が付かなかった些細なことに気付いたり、ひとりではなく、誰かと考えてみたり、新しい楽しみを見つけたり、といった様々な方法で、自分をととのえることをテーマとします。

単に新しい生活に自分を合わせるのではなく、それぞれの個人が、自分のコンディションに合わせて、自分をどのようにととのえるのか、その良いやり方を考えながら、「チューンナップ」してみませんか。

オンラインでのワークショップや映像視聴は、遠隔地からでも体験でき、データをダウンロードしたり、出力したりすることで、どこでもワークショップを行なうことができます。実際の会場での展示、オンラインでのワークショップ、自分(たち)のできるエクササイズ、などのほか、アーティストのオンライン・レクチャーやパフォーマンスなども行ないます。

3. 出品作家(五十音順)

荒牧悠
小鷹研究室(名古屋市立大学)
小光
正直+臼井達也
渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

共同キュレーション : 谷口暁彦

特別展示^{※6} : 東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター
大海悠太研究室
森山剛研究室
ライゾマティクス(特別参加)

企画監修: 阿部一直、野口靖

※6 特別展示は、東京工芸大学との共催事業となります。令和3年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業

作品例については【参考】をご参照ください。

4. 新型コロナウイルス感染症対策

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、お客様ならびにスタッフの健康と安全を考慮し、ご来館される全てのお客様に以下の対応のご協力をお願い申し上げます。

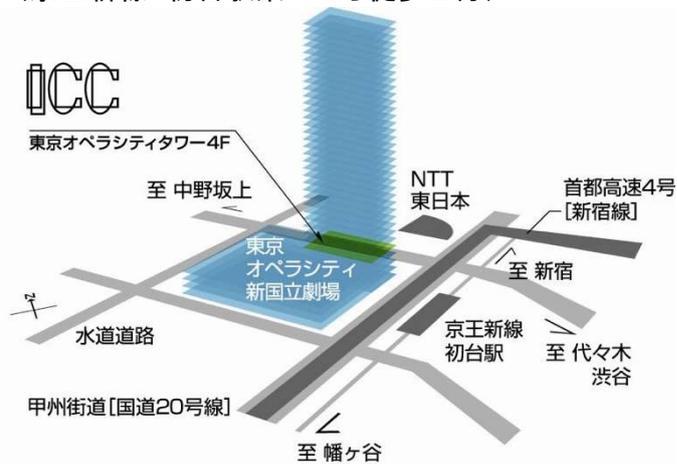
下記に該当する方は、ご入館をお断りさせていただきます。

- ・ 37.5 度以上の発熱症状がある方。
(入館時にサーモカメラ及び、非接触型体温計での体温計測を実施します。)
- ・ 過去 2 週間以内に、感染拡大地域や国への渡航をされた方。
- ・ 発熱、咳、鼻水、倦怠感の症状が続くなど、体調不良の方。
- ・ マスクを着用されていない方。

最新情報は ICC ウェブサイト(<https://www.ntticc.or.jp/>)などでお知らせします。

5. ICC のご案内

所在地：東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 4 階
(京王新線 初台駅東口から徒歩 2 分)



【本件に関する問い合わせ先】

NTT東日本
広報室 報道担当

TEL: 03-5359-3711

MAIL: houdou-gm@east.ntt.co.jp

【参考】

1. 出品作家と作品例

荒牧悠(あらまきはるか) *リアル、オンライン

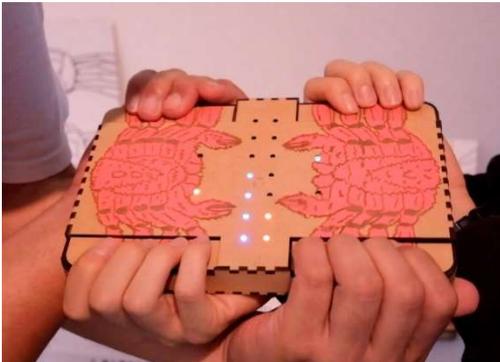


《ポヨンペロン》2018年 Photo: Masaki Ogawa (参考図版)

「風が心地よい日、生垣の葉の中にやたらと揺れている葉が一枚ある。揺らしている要因が風だけではないような揺れ方をしている、とても気になる。しばらく眺めていると、葉柄が細くなっていることに気がついた。周りの交通の振動もその細い葉柄を通じて葉をおおげさに揺らすのだろう。もうすぐ枝から落ちるのかもしれない、まさに葉が落ちる瞬間に立ち会おうとしているのだと気持ちが高まった」(荒牧悠)

荒牧悠は、太さが違うだけで思いがけない動きを引き起こす構造のヴァリエーションや、見え方の印象を作る図と地の関係などに関心を持って制作を行なっています。ほんのわずかな違いで意外な効果を生んでいる出来事は、案外身の回りに溢れているものですが、その効果をあえて作り出すには、手元で確かめて、間違えたり、その差や違いを見つけたりしながら、試行錯誤を繰り返すことが必要となります。その過程を自分で実験しながら、「こうすればこうなるだろう」というような予測やすでに持っている想像を押し拡げるきっかけが見つけられるような展示を行ないます。

小鷹研究室(名古屋市立大学) *リアル、オンライン
(こたかけんきゅうしつ なごやしりつだいがく)



佐藤優太郎、石原由貴、小鷹研理、名古屋市立大学大学院芸術工学研究科小鷹研究室《蟹の錯覚》2018年-

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科の小鷹研理研究室では、「からだの錯覚」を中心テーマとして、新しいメディア空間における新しい「からだ」のかたちを模索しています。「からだの錯覚」を実際に体験してみることや、新しい「からだの錯覚」を考案することを重視し、認知心理学における重要な概念である「身体所

有感(ある身体が自分の身体である、という感覚)」に対する理解を軸に、種々の心理実験から所有感を変動させるための必要条件を吟味しています。また、VR 技術を積極的に導入し「具体的に体験可能なインタラクティブ装置」のなかで設計された〈からだ〉のリアリティを様々な尺度で検証しています。

今回の企画では、小鷹研究室が発表した、特別な材料や道具を用いずに手軽に「からだの錯覚」を即席に体験することができるオンラインでのワークショップや、リアル展示では、体をモノのように錯覚する体験装置などを展示します。

小光(こみつ)



《Wander in Wonder》2018 年

何かが起こることへの期待感や、どこに何が隠されているのかを見つける楽しみを感じる、ゲームのような感覚で作品世界の中に引き込まれてしまう3つのアニメーション作品です。

《here AND there》2017 年 *リアル

傘をさわると何になるかな？ 犬の鼻をつかむと何がおこる？ 画面じゅうをタッチして海と家と街ののんびりとした1日を行き来してみよう。アニメーションにインタラクティブの連鎖を密かに仕込み、探ることの楽しさがより一層感じられるものになっています。

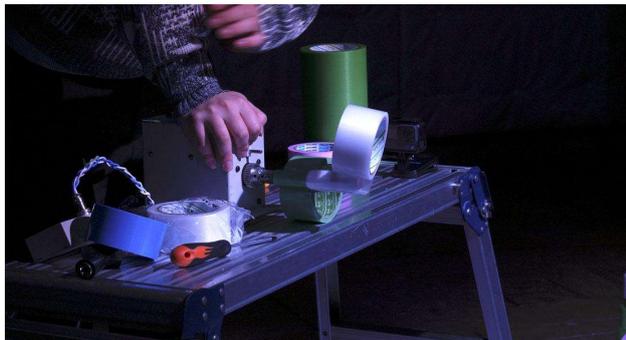
《Wander in Wonder》2018 年 *リアル

迷子になったうさぎが家に帰るまでを見守る、インタラクティブなアニメーション作品。すこしずつ夜に近づいてしまう中、不思議と花や草たちは帰る道を示してくれる。プレイした後、観客が道に生える小さな植物のことや子供の頃の記憶をふと思い出せるような作品として制作されました。

Coffee Dogs《you understand kawaii》2021 年 *オンライン

散歩する犬たちに「かわいい」と声をかけてみよう。小光と薄羽涼彌(うすはりょうや)からなるゲーム制作チーム Coffee Dogs による作品。日常の微かな幸せをゲームとして体験することができます。

正直+臼井達也(しょうじき+うすいたつや) *リアル、オンライン



正直 2019年のパフォーマンス 撮影:鹿+関真奈美

2016年、小林椋と時里充によって結成されたパフォーマンス・ユニット。養生テープをモーターで巻き取る。テープは芯からモーターの軸に巻き取られる際、糊の剥がれる音を発したり、空間的に引き伸ばされたりします。パフォーマーは黙々と作業を進める中で生じる微細な物の状態を観察し、調整を繰り返しながら、その音や空間をチューンナップしていきます。

今回は、ゲストとして臼井達也が参加。会場と遠隔地からオンラインでの共演を試み、配信、ライブ・パフォーマンス、アーカイヴによるインスタレーションを展開します。

渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所) *リアル、オンライン
(わたなべじゅんじ えぬていこみゆにけーしょんかがくきそけんきゅうじょ)



「わたしたちのウェルビーイングカード」2021年 (参考図版)

現在のコロナ禍は、リモート中心へと生活様式が変化するなかで、誰もが、一人ひとりの多様な幸せ(ウェルビーイング)を見つめなおす機会となっており、特に子どものウェルビーイングを高めることの重要性が指摘されています。NTTの研究所では、主に人間情報科学の観点から、ウェルビーイングにつながる心理的要因の解明やその機序についての研究に取り組んでいます。

今回出品する《「わたしたちのウェルビーイング」未来日記》では、子どものウェルビーイングの学びに向けた取り組みとして、ウェルビーイングを感じる様々な状況が書かれたカードを使います。これらの状況は人との関係性によって4つに分類され(I・WE・SOCIETY・UNIVERSE)、カードの裏面に分類が記されています。このカードを使って、身の回りのウェルビーイングを見つけ、日記のように記録していくワークショップなどを行ないます。

展示体験企画、カードロゴデザイン: 駒崎掲(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
学術アドバイス: 村田藍子(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

2. 特別展示:

東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター
大海悠太研究室 *リアル、オンライン
森山剛研究室 *リアル会場でのイベント
ライゾマティクス(特別参加) *リアル、オンライン

企画監修 : 阿部一直、野口靖
協力 : 株式会社アブストラクトエンジン

東京工芸大学「色の国際科学芸術研究センター」は、2016年に設立され、東京工芸大学のルーツである写真、印刷、光学といった学問分野に根差し、工学部と芸術学部とに共通する研究テーマとして「色」を取り上げた、国内の大学で唯一の「色」の国際的な研究拠点です。「色」の研究成果を、写真、映像、拡張現実、プロジェクション・マッピング、CGなどの最新のメディア・アートの手法によって情報発信を行なっています。

・大海悠太研究室 *リアル、オンライン
(おおがいゆうたけんきゅうしつ)



《カオティックビデオフィードバック》2019年

カメラをスクリーンに向けて撮影し、その撮影した映像をまたスクリーンに出してループさせると、合わせ鏡のような映像になることが知られています。この作品では、ループをする毎に高速計算PCによって全ての画素にカオス写像を用いて色を変換しており、映し出されている自分が徐々に変わっていく様子を見ることができます。また、色の変換のパラメータをチューニングすることで、映像の様々な変化を探索することができます。

・ライゾマティクス 新作インスタレーション *リアル、オンライン

3. 関連イベント

子どもたちの「もっとよく知りたい」に応えるための各種イベントを実施予定です

・レクチャー
小光
「小光とあそび night! ICC 出張版」
8月15日(日)午後2時 ICC ギャラリーA
配信あり

・パフォーマンス

正直+臼井達也

8月3日(火)午後6時 オンライン

8月21日(土)午後2時 ICC ギャラリーA

配信あり

最新情報は ICC ウェブサイト(<https://www.ntticc.or.jp>)などでお知らせします。